

「Port State Control と AISの不具合事例」

小野尚宏（九州運輸局）

＜講演概要＞

海上における人命の安全確保と海洋環境の保全のために、船舶に対し必要な技術基準を課すことを目的として、SOLAS条約(海上人命安全条約)、MARPOL条約(海洋汚染防止条約)やSTCW条約(船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する条約)などの様々な国際条約が制定されている。旗国(Flag State)は、自国船について検査をし、条約の基準に適合させる義務を負っている。しかし、旗国検査の不十分によると思われる条約不適合船(Substandard Ship)が存在し、この条約不適合に起因した海難事故や海洋汚染事故が多発している。この条約不適合船を排除すること及び旗国が果たすべき役割を補完することを目的に、寄港国(Port State)の権利として、自国に入港する外国船舶の立入検査を行い、条約不適合を指摘し是正させている。これを寄港国監督(PSC : Port State Control)という。

今回は、日本のPSCの概要と九州管内におけるPSCの特徴、さらにPSCで見いだされたAISの欠陥を含む不適合事例を紹介する。

発表資料の目次

1. PSC紹介

- 1) 組織
- 2) PSC活動
- 3) PSC統計
- 4) 欠陥事例

2. AIS

- 1) AIS欠陥統計
 - 2) AIS不適合事例
-